令和４年度　学校評価結果のお知らせ

立春の候、保護者の皆様には、益々、御清栄のことと拝察いたします。１１月には、お忙しい中、学校評価に関わるアンケートに御協力いただきまして、ありがとうございました。学校では、学校が行う教育活動等について、それらが適切であるかを検証することにより、学校運営を組織的、継続的に改善することを目指し、自己評価を行いました。その結果と保護者の皆様、児童のアンケート結果を合わせて、お知らせいたします。これらをもとに、よりよい教育活動、学校運営に向け、一層努力してまいりますので、今後も御支援、御協力をどうぞよろしくお願いいたします。

１　学校評価（自己評価）　Ｐ２を参照ください。

◎　自己評価の概要

（１）元気な子（主に、じょうぶでたくましい子）

目標指標値３．６に対し、達成度３．１３と目標値を下回る評価となりました。全項目について指標を下回る結果となりました。児童、保護者のアンケート結果が大きく向上していないことや、新たな取り組みの必要性から、自己評価が下がりましたが、いずれの項目も３を超えました。「体育授業の工夫」（５）については、各単元、各授業で、運動能力の向上、運動量の確保を図りながら、授業改善を推進していくよう、教育計画の作成、教職員間の情報共有、授業研究を行っていきます。また、児童の実態を踏まえ、学校全体で取り組む内容を明らかにします。また、学級活動を中心に、健康教育、安全教育の充実を図ります。「元気な子」に迫る取組は、家庭との連携が必要な内容が多いため、学校の取組を、さらに積極的に発信することで、家庭への啓発やそれによる連携を図っていきたいと思います。

（２）本気で学習する子（主に、よく考えやりとげる子）

全体としては達成度２．９０で指標値に達することができませんでした。「主体的、対話的で深い学び」の授業改善では、めあてをもって学習に臨み、自ら考えをもち、粘り強く取り組み、学習をふり返り、次に生かすという学習の流れを大切にするとともに、友達の考えに対し「どう思うか」といった視点を意識させ、対話を深める指導を継続します。また、「思考力、判断力、表現力」のさらなる育成に向け、表現しようという意欲を喚起する場の設定、相手意識を心掛けます。「書く」ことを多く取り入れ、自分の考えをまとめる、根拠を明確にして説明する学習活動を推進します。学習の基盤となる学業指導（学びに向かう集団づくり「人間関係や集団のルールの定着」）に力を入れていきます。プログラミング教育の実践（１２）については、身に付けさせる力を明確にし、系統的な指導が行えるようにするとともに、職員研修を充実させ、実践をより確かなものにしていきます。

（３）根気強い子

目標指標値３．５に対して達成度３．０９でした。保護者の皆さんからのアンケートの「自分のめあてをもち、それに向かって粘り強く頑張っている」「物事に真剣に取り組むようになってきた」の項目では、課題がうかがえる結果となりました。教育活動の様々な場面で、自分で目標を立て、見通しをもって取り組み、ふり返り、さらにどうしたらよいか考え取り組む、といったプロセスを大切にして、継続的に指導、支援を行っていきたいと思います。特別活動（学級活動や児童会活動、学校行事等）を充実させ、主体的に取り組む意欲と態度を育てることで、根気強さを育みます。キャリア教育を通し、自己の活動、取組での根気強さをふり返ります。また、道徳教育を通して、根気強さの基盤となる向上心、自律心、自制心、克己心等を育むとともに、根気強さの素晴らしさ、大切さを実感する指導を、継続して実践していきます。

（４）心の豊かな子（主に、心豊かで思いやりのある子）

目標指標値３．６に対して達成度３．０１でした。「明るく元気なあいさつや返事、正しい言葉遣い」に関しては、児童アンケートの結果は、約９０％が肯定的な回答で保護者アンケートの結果と約２０ポイントの開きがあります。学校運営協議会でも、児童のあいさつの状況に課題があるという意見があがっています。学校での指導を再確認し、児童が自らふり返る機会を工夫したり、児童全体で運動を推進したりし、日常的な指導を継続し、自他共に、しっかり身に付いていると言えるようにしていきたいと考えます。また、家庭と連携し指導にあたっていくことで、地域社会においても児童の変容を図っていきたいと思います。あいさつも含め、明るく素直な、心豊かで思いやりがある児童を育てるため、他者との関わりや社会や集団の中での規範意識や言動のあり方、社会性に関して、道徳教育の充実を図っていきます。また、たてわり班活動を効果的に活用し、思いやりの心を育てていきます。

２　その他の事項

・新指導要領の目指す「社会に開かれた教育課程」のさらなる実現を目指して取り組みます。地域との連携を図り、地域の物的、人的資源を活用し、地元との関わりを大切にし、地域性を生かした教育を実践します。そのための、カリキュラムマネジメントに積極的に取り組んでいきます。

・ＯＪＴ組織を軸にし、ＯＪＴを推し進め、協働体制のもと、教職員が主体的に参画する学校経営の実践に努めました。今後もＯＪＴの取組を推進していきます。

・教育活動の目標やねらい、児童に育成を目指す資質能力について、今後も積極的に情報発信します。

・学校運営協議会を中心としたコミュニティスクールを推進し、地域とともにある学校教育を推進していきます。

・小中一貫教育では、グランドデザインを基に重点目標に向け、三校一体となっての取組の推進に力を尽くします。

・主体的実践力を育成するために、学級活動を中心とした特別活動を核にして、体系的な取り組み、見通しをもった計画的な指導を重視していきます。

学校評価（自己評価）　A(4):よくあてはまる B(3):あてはまる C(2)：あまりあてはまらない D(1)：あてはまらない で評価 2，5が中間 3を標準とする。
指標値は、今年度の目標値(指標値は、昨年の自己評価をもとに設定しています。) 平均点達成度は、今年度の自己評価数値

栃木第四小学校		学校評価（学校運営・教育活動に関する自己評価）R4		
大項目 （ ）は指標数 （ ）外は、達成度	番号	評価項目 A(4):よくあてはまる B(3):あてはまる C(2)：あまりあてはまらない D(1)：あてはまらない 2，5が中間 3を標準とする。	平均点達成度	指標値
（1）元気な子 主に、 じょうぶで たくましい子 （3．6）3．13	1	基本的な生活習慣（早ね・早おき・朝ごはん）の定着に努めたか。	3.13	3.7
	2	自らの健康状態を意識させる保健指導の充実が図れたか。	3.06	3.5
	3	防災教育、安全教育が計画的に行われ、「自分の命は自分で守る」という児童の意識が高まったか。	3.22	3.8
	4	望ましい食習慣を身に付けさせるための食育の充実が図れたか。	3.24	3.6
	5	基礎的な技能・体力を伸ばす楽しさと活動量に満ちた体育授業の工夫が図れたか。	3	3.4
（2）本気で 学習する子 主に よく考えて やりとげる子 （3．3）2．90	6	「本時のめあて」「学習問題・課題」を明示し、「ふり返り」を行う等、考えさせる授業、分かる授業の実践が行えたか。（とち介の学びの実践）	3.13	3.4
	7	主体的・対話的で、深い学びの授業改善が図れたか。	2.94	3.4
	8	思考力・判断力・表現力の育成が図れたか。	2.88	3.3
	9	学び合いの実践、学び方の指導により、問題解決能力の育成が図れたか。	3.06	3.2
	10	安心して学べる人間関係づくりができ、ルールの定着が図れたか。（学業指導）	2.53	3.2
	11	読書の習慣化を図れたか。	3.12	3.5
	12	プログラミング教育が実践できたか	2.67	3
	13	一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実（すくすくシートの活用も含む）が図れた。	3.13	3.4
	14	少人数指導、T・T、パワーアップタイムの時間を活用などの個に応じた指導の充実が図れたか。	2.67	3.5
（3）根気強い子 （3．5）3．09	15	様々な場面でめあてや目標をもち、振り返りや自己評価をする実践を通し、根気強さを育てられたか。	3.13	3.7
	16	学級活動、委員会活動、クラブ活動を通し、主体的実践力の育成が図れたか。	3.06	3.3
	17	キャリア教育の充実が図れたか。	3.08	3.3
	18	清掃活動や勤労生産的行事で、最後まで真剣に取り組む姿が見られたか。	3.11	3.5
（4）心の 豊かな子 主に 心豊かで 思いやりのある 子（3．6）3．01	19	道徳性の育成に向け、考え議論し、自己をみつける特別の教科「道徳」の指導及び学習の状況や道徳性に係る成長の様子についての評価が確実に行えたか。	2.87	3.6
	20	児童一人一人の人権を尊重し、人権教育の実践がなされたか。	3.17	3.7
	21	いじめ防止基本方針のもと、いじめの未然防止、早期発見、適切な対応がなされたか。	3.24	3.7
	22	明るく元気なあいさつ・返事、正しい言葉遣いができるよう、日常的に指導できたか。	2.94	3.5
	23	情報モラル教育が実践できたか。	3	3.3
	24	心豊かで思いやりのある児童の育成に努め、そのような児童に育っているか。	2.88	3.6
	25	積極的な児童指導を行い、児童の成就感、自尊感情を高められたか	3	3.6
学校運営 学校教育	1	教育課程は、滞りなく実施されているか。	3.19	3.6
	2	社会に開かれた教育課程の実現に向け取り組めたか。	3.13	3.2
	3	カリキュラムマネジメントが行えたか。	3.13	3.6
	4	日課や時間割は適切か。	3.18	3.2
	5	現職教育（校内研修）は効果的に行われたか。	3.19	3.2
	6	各校務分掌は、機能しているか。	3.26	3.4
	7	学校課題に向け、取組が、計画的、組織的に行われ成果をあげているか。	3.19	3.5
	8	各教育活動でPDCAのマネジメントサイクルが活用されたか。	3.13	3.4
	9	OJTの取組が行われ、目標に迫れたか。	3.29	3
	10	OJT組織を軸とした協働体制のもと、教職員が主体的に学校経営に参画していたか。	3.06	3
	11	ふるさと学習がおこなわれたか。	3	3.1
	12	学級活動、委員会活動で、「話合い」活動が計画的に指導、実践できた。	3.12	3.3
	13	安全に関する取組（安全点検・避難訓練・安全教育・研修）が充実していたか。	3.33	3.6
	14	「働き方改革」を意識して、日常の勤務に取り組んでいるか。	3	3.4
コミュニティ スクール	15	保護者や地域の人的・物的資源を活用し、共に教育を行うことができているか。（地域連携、とちぎ未来アシストネットの推進・充実）	3.24	3.5
	16	社会に開かれた教育課程の実現に向け、学校教育目標や経営方針・育成を目指す資質・能力をわかりやすく保護者に伝えているか。	3.06	3.4
	17	保護者との連携（情報発信・コミュニケーション・相談対応）が図れたか。	3.29	3.6
小中一貫教育 の推進	18	めざす児童像、重点目標が意識され、小中一貫教育の推進が図れ、実践がなされたか。	3.13	3.4
	19	子どもの多様な考えを生かす授業ができたか。	3.13	3.5

5ページ

２　保護者・児童アンケート結果

保護者・児童アンケートの網掛け番号は、共通項目です。児童アンケート２０番は、３年生以上のアンケート項目です。

保護者・児童アンケートは、四捨五入等のため、合計が１００％でないものもあります。

R4学校評価　保護者アンケート

大項目		項　目	割合				
		学年	A:よくあてはまる　B:だいたいあてはまる　C:あまりあてはまらない　D:あてはまらない　E:よくわからない				
		学　級					
		質問内容（抜粋・集約文章あり）	A	B	C	D	E
(1)元気な子 主に、じょうぶでたくましい子。	1	早寝、早起き、朝ご飯	36.8%	48.2%	13.0%	1.6%	0.5%
	2	「自分の命は自分で守る」という意識の向上	39.7%	47.4%	11.9%	0.5%	0.5%
	3	体を動かし、体力向上に努めている	30.9%	36.6%	27.3%	4.1%	1.0%
(2)本気で学習する子 主に よく考えてやりとげる子	4	ホームラーンをしっかり行っている	13.5%	37.3%	33.2%	15.0%	1.0%
	5	学習内容を理解している	17.5%	59.8%	16.5%	3.1%	3.1%
	6	進んで、自分の考えを話したり、書いたりしている。	17.6%	25.4%	36.8%	17.6%	2.6%
	7	読書を進んでしている	14.9%	45.9%	33.0%	5.2%	1.0%
(3)根気強い子	8	家庭での仕事があり、進んで実践している	18.6%	39.7%	33.0%	8.2%	0.5%
	9	物事に真剣に根気強く取り組むようになってきた	17.1%	51.3%	26.4%	4.7%	0.5%
	10	自分のめあてをもち、それに向かってねばり強くがんばっている。	13.5%	45.1%	35.8%	4.1%	1.6%
(4)心の豊かな子 主に 心豊かで思いやりのある子	11	人を大切にし、相手のことや気持ちを考えて、話したり行動したりしている	22.7%	50.0%	15.5%	0.5%	2.6%
	12	明るく元気なあいさつや返事、正しい言葉遣いをしている	14.4%	55.7%	25.8%	1.5%	2.6%
	13	情報や情報機器の正しい利用ができている	19.7%	57.5%	14.0%	4.1%	4.7%
	14	学校に楽しく通っている	52.8%	37.4%	5.1%	4.1%	0.5%
	15	学級が楽しく、仲のよい友達がいる	52.8%	38.3%	6.7%	1.0%	1.0%
	16	教育目標や方針を分かりやすく伝えている	19.3%	55.7%	15.1%	2.6%	7.3%
	17	学校の取組や児童の様子を保護者や地域の人々に情報公開をしている	22.2%	56.2%	11.9%	3.1%	6.7%
	18	子どもをよく理解している	17.6%	53.9%	18.1%	3.1%	7.3%
	19	子どものことについて適切に相談に応じてくれる	23.7%	53.1%	11.3%	4.1%	7.7%
	20	家庭への連絡や意思疎通を積極的に応じてくれる	20.2%	56.5%	14.5%	4.7%	4.1%
	21	PTA活動は、適切に実施されている	20.8%	55.2%	8.9%	3.6%	11.5%

１ページ

R4学校評価　児童アンケート

大項目		項　目	割合			
		学年	A:よくあてはまる　B:だいたいあてはまる　C:あまりあてはまらない　D:あてはまらない			
		学　級				
		質問内容（抜粋・集約文章あり）	A	B	C	D
(1)元気な子 主に、じょうぶでたくましい子。	1	早寝、早起き、朝ご飯	48.5%	34.2%	13.3%	4.1%
	2	避難訓練、先生の授業や日頃の話などを通して「自分の命は自分で守る」気持ち強くなった。	71.4%	26.0%	2.0%	0.5%
	3	体育、たくさん体を動かし、運動がよくできるようになった	70.4%	20.4%	5.6%	3.6%
(2)本気で学習する子 主に よく考えてやりとげる子	4	「めあて」分かり、「ふり返り」できた	61.2%	30.1%	5.1%	3.6%
	5	授業で勉強がよく分かる	57.7%	34.7%	6.1%	1.5%
	6	授業で、粘り強く工夫して勉強、友達と話し合い、よく考えて勉強	57.1%	29.6%	10.2%	3.1%
	7	考える力、判断する力、自分の思いや考えを書いたり、話したりする力が4月より付いたと思う。	63.8%	26.0%	6.6%	3.6%
	8	安心して授業で発表したり、話し合ったりできた	56.6%	29.1%	11.7%	2.6%
	9	ホームラーンを進んで行い、それによって勉強ができるようになった	51.5%	24.0%	14.8%	9.7%
	10	本を進んで読んでいる	54.6%	28.1%	12.8%	4.6%
	11	パワーアップタイムで勉強ができるようになった	57.7%	27.0%	11.2%	4.1%
	12	分からないとき先生はよく教えてくれる	70.4%	18.9%	9.2%	1.5%
(3)根気強い子	13	係活動、当番活動に進んで取り組む	75.0%	20.4%	3.6%	1.0%
	14	4月より、あきらめずに続けることができるようになった	65.3%	26.0%	7.1%	1.5%
	15	いろいろな場面で自分のめあて、目標をもち、それに向かってねばり強くがんばっている。	60.2%	29.1%	10.2%	0.5%
(4)心の豊かな子 主に 心豊かで思いやりのある子	16	道徳科では自分のことを考えることができている	61.2%	29.6%	7.1%	2.0%
	17	友達を大切にし、相手のことや気持ちを考えて、話したり行動したりしている	68.9%	22.4%	7.1%	1.5%
	18	いじめはよくないと思っている	67.9%	26.0%	5.1%	1.0%
	19	明るく元気なあいさつや返事、正しい言葉遣いができる	55.1%	35.7%	8.7%	0.5%
	20	パソコン・スマートフォンなどを正しく利用しようとしている	78.7%	17.6%	2.9%	0.7%
	21	なかよし班の人と仲良く遊ぶ	75.5%	18.4%	5.1%	1.0%
	22	学校に来ることが楽しい	69.9%	20.9%	4.1%	5.1%
	23	先生はよく話を聞いてくれる	73.5%	20.4%	5.1%	1.0%
	24	クラスには、仲のよい友達がいる	88.3%	7.7%	3.6%	0.5%

３　学校評価　保護者アンケート（自由記述と今後の対応について）

自由記述の欄にも御意見、御要望をいただき、ありがとうございました。本校の学校教育目標、学校運営、教育活動に関わる内容を中心に、検討結果をお知らせいたします。なお、皆様の御意見、御要望は、教職員で共有しております。いただいた御意見を参考に、よりよい学校運営、教育活動の実施に努めてまいります。なお、御意見、御要望いただいた内容は、その趣旨を踏まえ、まとめさせていただいてありますので御了承ください。

○学習に関わることについて（タブレットの活用等について）３名

授業は、学校の活動の中心であり、最も重要な時間です。私たちは、児童の様々な力（資質、能力）を育てるため、指導の工夫、改善を行っています。昨年度からのタブレットの導入で、授業においてタブレットを活用し、授業の工夫改善を行っています。タブレットの持ち帰りによる家庭での学習は、今後、増やしていこうと考えています。児童が持ち帰った際のタブレットの扱いや利用の仕方については、御家庭での御指導もよろしくお願いいたします。また、オンライン授業については、諸条件の調整を行いながら、検討を行っていきます。

○児童指導、児童との関係に関すること（子どもへの指導、信頼関係）８名

児童の社会性や協調性に関わる指導を今後も大切にし、「ルールを守る」「自分本位にならず、他者や周囲のことを考えて行動する」といった指導を行い、「尊重の精神と思いやりの心」を育んでいきます。御家庭でも同一歩調で御指導いただけると効果が上がると思います。また、ルールを守っての安全な登下校につきまして、各御家庭でも継続的に児童に御指導いただきますようお願いいたします。児童への指導、信頼関係構築への取組について、感謝の言葉もいただきました。さらに、今後も、学校全体で、児童への指導、信頼関係の構築に努力していきたいと思います。

○諸活動について（いろいろな経験を）１名

運動会を始め、様々な活動については、その目的や意義を明確にし、また、コロナ感染症の感染状況を踏まえ、実施やその時期、方法を考えています。今後も同様に考えていきます。

○健康、安全に関すること　４名

不審者侵入への対策として、門扉の施錠を実施することとし、始めています。また、児童の健康や安全に関する教育を今後も継続し、安全管理に努めます。

○連携　情報発信　４名

家庭で協力できることがあれば発信してほしいという御意見、ありがとうございます。また、ボランティアをさらに募集するとよという御意見もいただきました。とちぎ未来アシストネットの取組としてボランティア募集を毎年行っています。今後も、開かれた学校、保護者・地域の方々とともに子どもを育てる、という考えのもと学校運営を行ってまいります。
４月の授業参観、学年懇談会は、上記の観点からも重要と考えます。コロナ感染症の状況によりますが、昨年同様、実施の方向で計画を進めます。夏の個人面談は、より効果的なものとなるよう協議をします。

○学校教育全般　２名

給食当番の白衣は、既に常備されていることや機能性と管理面、御家庭の負担等を考え、このまま使用いたします。
体育館シューズに関しては、安全面で大きな問題はないかと思いますが、体育館シューズの使用について、検討を行います。

４　学校関係者評価

自己評価をもとに、学校運営協議会で今年度の学校運営、教育活動を評価いただきました。「明るく元気なあいさつ、返事は、小さいときからできると大人になってもできるもの。今後も指導が必要と思う」「コロナ禍で授業時数が足りなくなっている学校もある。学びを止めないことが大切」「自信をつけるために、ひとりひとりの得意分野を伸ばしていくとよい」「安心して学べる人間関係づくり、ルールの定着等の課題について、改善に向け取り組んでいってほしい」「学校は、年々情報の発信が増えていると思う」「あいさつや言葉遣いについて、ＰＴＡにも協力してもらうとよい」「教職員と保護者の認識を同じにするために、話し合う機会を大切にするとよい」といった御意見をいただきました。事前に行った委員の皆様の学校運営全般についての評価では、よい評価をいただきました。御意見を今後の学校運営、教育活動に生かして参ります。